

【学生の受入れについて】				
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答（150字程度）	担当部署
Q1 大学を選ぶときに、どの程度アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）を参考にしましたか。また、大学選びでは、何を一番重視されましたか。	1	日本語日本文学科では「自立・創造・共生」という他者と協力する力が必要になることから、コミュニケーションを取ることが長所と考えている自分にとって、長所をさらに伸ばし活かせるような大学だと判断したため、自分に合った教育方針を行っているかを重視した。	その通りであり、そこを重視して本学科を選んでもらえたことはありがたいことです。	文学部 （日本語日本文学科）
	2	アドミッションポリシーは大学選びには、参考にしなかった。私が一番、大学選びで重視したことは社会科教員の免許が取れるのかどうかという点で、大阪大谷大学において中学校社会科の教員免許が取れる学部・学科が文学部歴史文化学科だったため、この大学を選びました。	各学科・専攻での学びに必要な知識・技能、思考力、態度・姿勢等をアドミッションポリシーとして明文化しています。そして、それらを身につけていることを測るための入学試験を実施しています。資格、免許を取得する過程も学びの一つと考えると、アドミッションポリシーを身につけているからこそ、チャレンジできるといえます。そのような関連を分かりやすく説明する取り組みの必要性があることを理解しました。	入試広報室
	3	大学を選ぶとき、アドミッションポリシーは一応内容を確認し、内容が理解のおよぶ範囲だったらそれでよしという感じで、そこまで参考にはしていなかった。大学選びでは、取得可能資格を一番重視していた。		
	4	アドミッションポリシーを十分踏まえた上で、本学を志望しました。本学の教育理念の「自立・創造・共生」のうち私は創造に着目しました。私自身将来、子どもたちの伸ばしたい力として創造を挙げております。そのためまず自分自身が創造力を身に付けなければならないと、当時考えていました。大学選びでは、教育学部から中学校教員になれる学校を一番に重視しました。なぜなら大学4年間で専門教科の教養を中心に身に付けるのではなく、教育の専門知識を中心に学びたいと考えていたからです。中でも学校教育専攻の教育方針である「ストロングポイントを持った人材養成」に着目しました。本学に入学すると私の得意をさらに伸ばすことができ、きっと良い中学校教員になることができると考えたため志望しました。		
	5	一時期AO入試を考えていたため、その際にアドミッションポリシーを拝見しましたが、大学選びにはあまり参考にしませんでした。私はもともと特別支援教育を学びたいという気持ちが強くあったため、特別支援教育をしっかり学べるという点で本学を選びました。	No. 2 及び No. 3 に対応	入試広報室
	6	① アドミッションポリシーは、目を通した程度です。 ② 大学選びでは、少人数制であることを重視しました。	学科・専攻のアドミッションポリシーと入学後の学びとの関連を認識してもらうために、わかりやすく説明する必要があると理解しました。その取り組みを通じて、アドミッションポリシーが進学先を検討する際の材料の一つになることを期待しています。	入試広報室
	7	アドミッションポリシーは、あまり参考にしませんでした。大学選びでは、家から大学までの近さを重視しました。		
	8	報恩感謝に基づく教育理念に共感し、己の把握を1番大事にしていたので選びました。	大学の建学の精神や教育理念を学科・専攻に合わせて説明しているものが、アドミッションポリシーです。それに共感して本学を選択する学生がいることも理解しました。学科・専攻のアドミッションポリシーだけではなく、建学の精神と教育理念も理解してもらえるよう取り組む必要を理解しました。	入試広報室
自由記述 その他、学生の受入れについて、気づいた点等があれば記入してください。	9	オープンキャンパスも大阪大谷大学の学生主体で活発に行われているのは、在学生として見ていて感じるの十分だと思っている。ただ、遠方から来る学生にとっては、どんな学校なのかが実際に行っただけでは分からない部分も多いので、ネット上で授業の紹介などしてもらえると具体的なイメージが湧いて大学選びに役立てることができる。	オープンキャンパスや「CREWS oh!」の頑張っている姿を評価してもらえることは、嬉しいことです。また、WEB内で授業や学内の様子を紹介してほしいとの意見については、現在、WEB上で紹介する内容を充実させているところであり、今後、授業を紹介するコンテンツについても検討していきたいと思えます。	入試広報室
	10	高校3年生のとき、本学の公募・一般では併願者が多い印象があったため、本学が第一志望だった私は彼らに劣ってしまうかもしれないという不安がありました。入学後、私は学生広報スタッフCREWS oh!に所属しました。そこでご参加くださった見学者様のお声を聞く限り、大阪大谷が第一志望の参加者さんが多いです。以上の経験から、大阪大谷が第一志望の熱い気持ちを持った受験者さんが、一人でも多く本学に入学出来たらいいなと思います。	入学試験の時は、他の受験生の様子と比べて萎縮してしまうことはよくあることだと思います。本学で学びたいという気持ちを持ってチャレンジしてくれたことを嬉しく思います。そのように思ってもらえるような広報活動に取り組んでいきたいです。	入試広報室
	11	コロナウイルス感染拡大によって、難しいことは承知しているのですが、本学を選ぶ上でクラブのパフォーマンスが大きなきっかけとなったので、7月のオープンキャンパスのようにクラブパフォーマンスがまた再開出来たらいいなと思います。	受験生にとっては、学びたいことと同じくらい学生生活が大学選びの重要な要素だと考えています。本学の学生たちの日々の活動を体感してもらう機会を逃さないことが広報活動では大切だと理解しました。	入試広報室
	12	スポーツ推薦入試があるが、スポーツ推薦で入学した学生が部活を辞めているケースが多くみられる。部活を辞めた後、勉学に励むのではなく、落ちこぼれていく学生も見受けられるが、果たしてそこまでしてスポーツ推薦で学生を入学させる意味があるのか。	どのような入試形態で入学しても学び続ける意欲を持ってもらうことは重要だと思います。学科・専攻で学ぶ内容を十分理解していると想定していた入学後の学生生活と異なっても意欲の減退につながらないと思います。学部・学科での学びの内容を理解してもらう広報活動の重要性を認識しました。加えて、スポーツ推薦の入学者だけではなく、様々な理由で意欲が低下している学生のサポートを丁寧に行っていく必要もあると考えています。	入試広報室

【学修支援について】					
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署	
Q2 「Moodle」や「tani-WA」といった本学の学修支援システムは、利用しやすいものになっていますか。また、教員によるオフィスアワーは活用していますか。	13	tani-WAに関しては、入学した当初から講義の確認、レポートなどを提出する場所として使用しています。操作の仕方も簡単であり、利用しやすいです。レポート欄に直接文字を打ち込んでいる間、ある程度時間が経過すると再度ログインを求められ、書いていたレポートが全て消えたと困っている生徒が当時は目立っていたので、その点は気になります。 Moodleに関しては、こちらで学習をしたことがあまりないのでよくわかりません。e-LearningがMoodleに含まれるなら、e-Learningは不具合が多く非常に不便でした。改善すべきだと感じています。	tani-WAの直接記入方式によるレポート提出は、本文のコピー&ペーストが可能です。一旦、他のアプリで作成した提出文面を貼り付けて、tani-WA上で仕上げるなどの技術的な使いこなしも身につけてください。Moodleに関しては、教員間にも同じ意見が多いので、今後の利用については検討課題としていきたいところです。 学修支援システムとしても各種調査システムとしても、Moodleでしか行えない機能もありますので、LMSの一本化は困難ですが、操作上不明な点があれば、情報教育センターまたは教育・学修支援センター、授業担当教員にお問い合わせください。	文学部 （日本語日本文学科） 情報教育センター 教育・学修支援センター	
	14	この三年間、一番利用した大学のサービスは間違いなくtani-WAだと言えるぐらいにお世話になった。そして、利用しやすいものになっていると思う。Moodleに関しては、そこまで使用する機会がないので急にmoodleでの共有となると慣れない部分があり少し使いにくさを感じている。1回生の時はmoodleを急に使用しないといけない状況でどこだったかと困った。オフィスアワーは活用していない。なぜなら、教員とのやり取りは全てメールで事足りているからである。もし、直接顔を合わせて相談をしたければ、授業の後に相談するかメールにてアポを取り都合を合わせるのでオフィスアワーの存在自体を知らない学生も多数いるはずだと思う。	tani-WAは使いやすく、スマホでもアクセスしやすいと思います。なお、moodleは教員でも使いにくいと感じているものの、大学としてはmoodleから使い始めた経緯があり、現在も継続して使っている状態です。今後、教員の間でも、議論していきたいと思います。また、オフィスアワーについては全教員がシラバスに記載しており、その時間は学生対応ができる体制を取っています。しかしながら、コロナで大学に出てくる機会が少なくなった状況であったこともあり、オフィスアワーが使われにくくなっているのかもしれませんが、今後は、是非オフィスアワーを活用してほしいと思います。なお、以前は歴史文化学科では、ランチタイムを共有するというようなことも実施していたようです。	文学部 （歴史文化学科）	
	15	学修支援システムについて、「tani-WA」は課題提出や授業動画、教員からの休講等の連絡などでよく利用しており、とても利用しやすいものになっていると思う。しかし「Moodle」に関しては日常ではあまり利用した記憶がなく、必要になったら利用するという状況になっていて、利用しやすい以前に利用する機会が少ない。「tani-WA」1つである程度こと足りている。教員によるオフィスアワーはゼミや授業終わりなど必要に応じて活用している。	ご意見ありがとうございました。学修支援システムの「tani-WA」の使い方に慣れ、その機能で事足りるようになってきていること、反面、「Moodle」の使い方に慣れていないため、活用しづらいことも多くを学生から聞いています。今後、機能の使い分けや、できるだけ情報が行き渡るような見直しをしていきたいと思っています。オフィスアワーなどを活用し、必要に応じて教員とのコミュニケーションを取っていただければと思っています。		
	16	「tani-WA」に関してはとても重宝しております。機能の充実さ・ポップなデザインを含めオンライン授業中は大変助けられました。しかし、「Moodle」に関しては大学3年生になった今でも使い方が分からない学生も多々います。中でも教職センターからの情報が「tani-WA」でないことが少し不便です。自ら「Moodle」を開く習慣がないと、なかなか情報が得られないと思いました。またオフィスアワーに関しては、正直あまり利用していません。質問がある場合は、直接教授とメールを通じて日程調整を行うため、オフィスアワーに合わせて研究室を訪れることは少ないです。		教育学部 （幼児教育専攻、学校教育専攻、特別支援教育専攻）	
	17	tani-WAは利用しやすいと感じています。しかし、Moodleの活用方法については今ひとつ理解出来ていないように思います。教員によるオフィスアワーはあまり活用していません。質問などは授業後に行うことが多いです。			
	18	① 学修支援システムは利用しやすいです。特にtani-WAが利用しやすいです。 ② オフィスアワー、活用されています。	Tani-WA等の学修支援システムは、今日の大学の学びにとって不可欠なものです。その学修支援システムについて肯定的に評価をしてもらっていることをうれしく思います。また、オフィスアワーも、学生と教員との距離を縮め、効果的に教育活動を行なっていくうえで重要な制度です。今後も、学生の皆さんにはその意義を理解し、活用してもらいたいです。	人間社会学部（人間社会学科）	
	19	「Moodle」に関しては、学修行動調査やPROGの際にしか使うことがないため、利用しやすいかはあまり分からないが、「tani-WA」は、コースニュースやコンテンツ、スレッドなどに分けられており、またレポート欄だけでなく、アンケート機能や小テスト機能などもあるため、学生側からして利用しやすいものとなっている。 オフィスアワーは、あまり活用していませんが、授業や課題についての質問やテストについての質問などがあれば、授業前・授業後に個人的に教授に聞きに行くようにしています。	確かに「Moodle」は指摘されているように、通常使用する状態ではないために、使い慣れていない状態があると思います。学科では、ゼミ等の時間を活用し、「わからない」学生への支援を行うなどのサポートが行われていました。「わからない」時にはぜひ、ゼミ担当教員等にSOSの発信をお願いします。 オフィスアワーは、全教員が提供することになっています。ぜひ、積極的にご活用ください。	人間社会学部（スポーツ健康学科）	
	20	携帯からでもログイン可能であるため大変利用しやすいです。テスト期間に勉強の仕方などの相談をさせて頂いております。	学生さんにとって利用しやすいのご意見で、こちらとしても安心していきます。このシステムが有効に活用できるよう、教員側も教材提供などについてより工夫できればと考えています。	薬学部 （薬学科）	
	自由記述 その他、学修支援について、気づいた点等があれば記入してください。	21	学修支援システムをある程度「tani-WA」にまとめる方が学生にも利用しやすいのではないかと。（特にMoodle）	ご意見ありがとうございました。学修支援システムの「tani-WA」の使い方に慣れ、その機能で事足りるようになってきていること、反面、「Moodle」の使い方に慣れていないため、活用しづらいことも多くを学生から聞いています。今後、機能の使い分けや、できるだけ情報が行き渡るような見直しをしていきたいと思っています。	教育学部 （幼児教育専攻）
		22	アクティブ・アカデミーの0時～7時の利用停止機能が不便だと考えます。特に履修登録期間やテスト期間中は24時間使えるようになると便利だと思います。	アクティブ・アカデミーに関しては学外のサーバーシステムを利用しており、その日に登録された内容を翌日までに更新するための時間が必要となります。不便と感じるかもしれませんが、使用可能時間を24時間に変更することができないことをご理解くださいますようお願いいたします。	教務部
23		①全ての連絡事項をtani-WAに統一してほしい。課題等に追われている中、tani-WAはよく見ている。友人同士の会話でtani-WA以外に情報が確認できる場所があることを知ることあり、メール等で教えてほしいし、tani-WAにも載せてほしいと思う。 ②もう少し教員の方々にtani-WAの使い方を周知してほしい。（特に非常勤の講師の方に。）	大学から学生へ連絡する手段として様々な方法があるため、統一してほしいとの要望については、教員の間でも統一したいと話しています。また、大学から学生への情報が様々なツール（大学HP含む）にあがっていることで重要な情報が見落とされる可能性があるという点についても、学生に不利益が生じないようにツールの改善を検討したいと思っています。 tani-WAで授業を支援しているにあたり、先生方が使い方を分かっているなければ、学生の皆さんが混乱するのは当然だと思います。なお、tani-WAの使い方は教員用にtani-WAマニュアルを作成していますが、行き届いていないようですので、非常勤の先生も含め、徹底していきたいと思っています。	人間社会学部（人間社会学科） 教務部	

【キャリア支援について】				
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
Q3 キャリア教育科目やインターンシップ等、大学から提供されているキャリア教育支援は、自分が希望している内容となっていますか。また、キャリアセンターや教職教育センターは、気軽に足を運び、進路等について相談できる場所となっていますか。	24	キャリア科目について、豊富な講義と受講した先生の印象は非常に良いと感じています。通常の講義では学べない観点からの学習は有意義なものであり、もっとキャリア科目の履修を進めても良いと考えます。キャリアセンターへはまだ足を運んでいません。どのように尋ねたらよいのかあまり理解していません。	この度、新たに「キャリアセンターツアー」を開始します。これに参加すると、学生の皆さんに「キャリアセンター」についてより一層理解を深めてもらえると考えています。 キャリアセンターツアーの内容 ・キャリアセンター窓口・キャリアサポートルーム・面談室・掲示板の紹介 ・キャリアセンターにある資料の利用方法説明 ・求人検索ナビの利用説明（キャリアに関する相談の申込方法） ・求人情報、キャリア支援行事に関する情報の入手方法 など	キャリアセンター
	25	教職支援センターにはお世話になりっぱなしで、あと一年半も通うぐらいの勢いでお世話になっていく場所です。教員になりたいという学生を支援する場所として多くの大阪大谷大学の学生に感謝されてきたことを雰囲気を感じています。それぐらい十分なサポート体制を敷いてくれています。キャリア教育科目についても学生が希望しているものになっているとは思いますが、実際何をしているのかは受講してみるまでイマイチ分からないようになっていくのが惜しいとは思っています。	今後も教職教育センターでは、多くの学生の皆さんへの支援を続けていきたいと思っております。キャリア教育科目については4月の履修登録前にマニュアルを配布し内容のお知らせをしていますが、一層の周知に努めたいと思っておりますのでぜひ利用して下さい。	教職教育センター
			シラバスに記載している講義内容の説明（授業テーマ、講義概要、授業内容等）を読めば分かるよう、取り組んでいきます。	キャリアセンター
	26	自分の受講した文章表現A・社会教養基礎に関しては希望している内容となっていた。その他のキャリア科目やインターンシップ等は、実際に体験していないため、希望内容かの判断は出来ない。キャリアセンターや教職教育センターは、最初こそ少し勇気はあるが、何回か利用すると気軽に足を運べ、進路等について相談できる場所になっている。	より気軽に利用できる施設になれるよう取り組んでいきます。	キャリアセンター
			教職支援課の担当するプログラムについてはマニュアル等で、周知に努めます。また、学生のみなさんが気軽に足を運んでもらえるような雰囲気になるよう今後も努めたいと思っております。	教職教育センター
	27	教職教育センターに関しては度々利用している。少なくとも週に1回、多くて3回ほど利用している。センターの先生方はもちろん、職員の方がとても熱心かつ丁寧で、手厚いサポートに日々助けられている。実際に教職教育センターを通じて、教育インターンシップや学生ボランティアに行くことができた。一方、キャリアセンターに関しては利用する機会が少ない。教職志望であることが一番の理由である。また、キャリアセンターには、就活の意識が高い文学部・人間社会学部が集うイメージがある。比較的就活への意識が低い教育学部生にとって、少し訪れにくい印象がある。	今後も教職教育センターでは、多くの学生の皆さんへの支援を続けていきたいと思っております。	教職教育センター
			教職教育センターを活用し、自分の希望に沿った出口を目指してほしいと思います。また、キャリアセンターに関しては、数年前に就職指導課から人生全体のキャリアを見つめ直すという目的で設置されたものであり、教職志望者だけでなく全学生に当てはまることと考えています。なお、まだ設置して間もないことありますが、キャリアについては、本来であれば1回生から学ばないといけないことであると考えていることから、今年度より、キャリアセンターから出張して説明を行うなど、低学年から全学的に利用してもらえようとしていきたいと思っております。なお、現在は、教職教育センターとキャリアセンターとに分かれておりツーストップになっていることから、学生が利用しやすいように、入口を一つにすることについても考えていきたいと思っております。	キャリアセンター
	28	私自身あまりキャリアセンターを利用したことがないので、気軽に足を運べる場所となっているかは分かりません。	No. 24で対応	キャリアセンター
	29	① キャリア教育科目は自身のことを振り返る機会になったり、実践的に学べ成長を実感できたりするので充実しています。 ② 気軽に相談できる場所です。	① これからも学生の皆さんに満足してもらえるような授業・行事を実施していきます。 ② より気軽に利用できる施設になれるよう取り組んでいきます。	キャリアセンター
	30	キャリア教育科目やキャリア支援行事は充実しており、自分が希望としている内容になっている。キャリアセンターにおいては、3回生になってから頻りに利用するようになったが、親身に相談に乗ってくれ、エントリーシートの添削も丁寧に行ってくれるため、気軽に足を運べる場所となっている。面談に行くことで、おススメの企業や自分に向いていると考えられる企業も教えていただけるため、就活をする上で多くの情報を知ることができる。	これからも学生の皆さんに満足してもらえるような授業・行事を実施していきます。	キャリアセンター
31	なっています。キャリアセンターや教職教育センターは、あまり利用していないのでよくわかりません。	No. 24で対応	キャリアセンター	
		教員を目指す学生以外の方でもぜひ一度、教職教育センターを利用してもらえれば有難いです。	教職教育センター	

令和4（2022）年度 大阪大谷大学学生代表者会議～ 学生との意見交換の内容及び大学側の回答 ～

自由記述	その他、キャリア支援について、気づいた点等があれば記入してください。	32	一年生でも入りやすいような呼びかけや取り組みがあると助かると思います。教職支援センターは教職に興味があり何かしなくてはとは自分自身思っていたので、大学一年生の後期辺りからお世話になっていますが、強い興味が無ければ入りにくい場所というか存在自体もあやふやになっているのでは？と感じます。この大学のキャリア支援は十分役立つものなので、早い段階から通う学生が増えるとも良いものになっていくと思います。	入学時には教職教育センターのオリエンテーションを実施し、また学科や講義の中でセンター見学をされることもあります。何れにしても学生のみならず足を運んでもらえるよう、プログラム等のお知らせなどの発信を工夫し周知に努めます。また、気軽に活用してもらえるような雰囲気になるよう工夫したいと思います。	教職教育センター
		33	就職ゼミはコロナ禍の影響でオンラインになっていたと記憶しているが、もし対面でする場合は、その学生の進路希望によっては、進路に関する各センターに実際に訪れて話を聞く機会を授業内で設けてはどうかと考える。各学生でなくても全学生でもいいと思う。授業例としては基礎ゼミなど全学生共通のものである。	No. 24で対応	キャリアセンター
		34	先日、学校教育専攻でゼミの全体会がありました。そこでキャリアセンターの特任教授が来て下さりました。教育学部生にとって就活の話聞く機会は少ないため、3回生にして今回が初めてだった学生も多いと思います。このように将来の夢は違っても、学部を超えてキャリアや教職のお話を聞く機会は大切だと考えました。	ゼミの全体会の時間を頂戴して「キャリアとは何か」「就職活動とは」といったキャリアについて考えるための講義を行うことは、特にキャリア教育科目を受講していない学生の皆さんに非常に有意義であると考えています。今後も先生方や関係部署の皆さんの理解と協力を得ながら開催出来ればと考えています。	キャリアセンター
		35	① キャリアセンターを通して、開かれているマイナビ？やリクナビ？などの講座より独自性のある講座があれば良いのにと感じました。 ② 証明写真や、マナー講座は良かったです。	①本年6月8日に開催したキャリア支援行事「就活準備講座①」は本学キャリアセンターの職員が講師を務め、内容も本学オリジナルのものです。また本年後期においても、12月7日に開催予定の「就活準備講座⑥」（内容：履歴書の書き方、企業の選び方説明会）は、本学キャリアセンターの職員が講師を務めるオリジナルの講座となっていますので、是非参加してください。 ②ご指摘の講座は「就活身だしなみセミナー」というキャリア支援行事で、参加した学生の皆さんから好評を得ております。本年後期も11月14、16、17日に開催しますので、是非参加してください。	キャリアセンター
		36	キャリアセンターの面談予約について、面談予約が空いている時間しか見ることができず、自分が担当してほしい方の空き状況が分からないため、面談希望日に予約を行っても自分が担当してほしい方が既に埋まってしまっており、対応者の変更か、面談日の変更を強いられるといったことが何度かあったため、難しいとは思いますが、空いている時間だけでなく、担当者の空き具合も見られるように改善してほしい。	就活NAVIについては、面談予約ができるが日付指定のみとなっていて、窓口で調整することは可能であるものの、多くの人に利用してもらうため、このような仕組みになっています。なお、担当者と話した内容はデータベースで共有されていて、情報は引き継がれているので、担当者を一人に絞らず、複数の担当者と話し、いろいろな意見を聞いてほしいと思います。	キャリアセンター
		37	利用している友達にも身に覚えがありません。	No. 31で対応	教職教育センター
				No. 24で対応	キャリアセンター

【学生サービスについて】				
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
Q4 奨学金等の経済的な支援や課外活動における支援・指導は、適切であると感じていますか。	38	奨学金、課外活動について、利用していないので答えかねますが、ゼミナールにて助成金を利用した際、助成金が受理された後の計画しか支援して下さらない点に関しては適切でないと感じています。	志学会助成金は学生のみさんから預かった会費で運営していて、それを大切に活用するため、厳正な取り扱いをしています。そしてこの助成は国の補助金等と同様に、採択決定後の費用を助成することとしています。しかしながら、そのことの明示がないことは事実であり、今後はそのことを募集要項等に明記して応募時にもわかりやすく案内すること等の改善ができないか、志学会において検討します。	志学会
	39	自身では奨学金等の経済的な支援は受けていないので何とも評価できないのですが、課外活動については、一年生の頃に中学校の学習支援サポーターというボランティア活動をやらせて頂いたことがあります。そもそもそのボランティア活動自体を勧めたのが教職教育センターの方で、教育委員会の方にも連絡を取ってもらいスムーズに話が進んでいったので感謝しています。	課外活動・ボランティアについては、学生課で対応していますが、教職関係は、教職教育センターで対応しています。部署連携を行い、どちらの窓口でも対応しますので、困りごとがありましたら、声がけください。	学生部
			今後も教職教育センターでは、学生の皆さんが学校支援学生ボランティア活動等で、自治体等と連携しスムーズに活動ができるよう支援を続けていきたいと思っています。	教職教育センター
	40	自己点検評価書通りであるならば適切であると感じる。	回答ありがとうございます。今後、奨学金の手続き等で疑問などありましたら、学生課奨学金担当まで問い合わせください。年間で必要な手続きがある際は、メールにて連絡します。必要に応じて、説明会の添付文章を添付するなどして、分かりやすく説明します。	学生部
	41	奨学金に関しては適切だと考える。年度初めに開かれる奨学金説明会では丁寧に説明してもらい、あまり奨学金制度に詳しくない私でも、無事手続きすることができた。課外活動に関して、私は部活動ではなく入試広報課管轄である「学生広報スタッフCREWS oh!」に所属している。入試広報課の職員の方は本当に迅速かつ丁寧に、オープンキャンパスでも助けてもらった。私たちにとって頼りがいのある方ばかりである。それは職員としてだけでなく、一人の社会人として尊敬している。その手厚く熱いサポートに我々は大変救われている。	奨学金は、充実したキャンパスライフや将来のために活用してもらおうものであり、上手く活用してくれていると思います。なお、奨学金の手続きは分かりにくいものであるため、学生課では分かりやすい説明を心がけています。また、凛WEBも活用し、学生へ早く情報が届けられるようにしています。	学生部
			オープンキャンパスにおいて、学生広報スタッフとしても大学を応援してくれており、また、職員とのやり取りはうまくいかないこともあると思いますが、職員と協力をしながら丁寧にしっかりと取り組んでくれていると聞いています。そのような姿勢が大学のイメージとして学外の方にも知ってもらえるのではないかと思います。また、大きな行事は教職員だけで運営することは難しく、また学生さんからの生の声を学外の方へ届けてくれることが一つの窓口となることから、学業等の負担にならない程度に今後も取り組んでほしいです。	入試広報室
	42	適切であると感じています。	No. 40で対応	学生部
	43	①奨学金等の経済的な支援は、私自身はよく分からないが、学生課にて丁寧に説明しているところを見たり、奨学金の表彰されていた人の話を聞いたりしている限りでは適切で親切的サービスなんだと感じた。 ② 課外活動の対応では、学生課の方が名前や話を覚えてくれていたり、分からないことがあれば丁寧に相談に乗ってくれたりするのでありがたい。適切だと感じる。	奨学金のうち、入学試験成績優秀特別奨学金（本学独自の奨学金）は入学以降一定の成績を維持していれば継続できるようになっていて、2回生以降継続できる学生は学長から表彰されます。それがその後も成績を維持し、奨学金を継続していく励みになればと思っています。また、課外活動についてはコロナのため2年以上に渡って、感染防止対策を徹底しながら学生対応をしてきている職員には、感謝しています。なお、課外活動に関しては一時的に制限をしていましたが、様々な活動を続けていくために、以前よりも提出書類が多く、手続きが複雑になっていますが、今後も丁寧に対応していきたいと思っています。	学生部
44	直接自分が支援・指導を受けたことはないため、よく分からない。	回答ありがとうございます。奨学金についての質問などありましたら、学生課奨学金担当まで問合せください。春と秋に奨学金申込についての説明会を行う予定です。説明会開催時期には、ホームページや凛WEB、掲示板でお知らせします。必要と思われた際は、参加してください。	学生部	
45	奨学金は利用していません。			

質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
Q5 保健室や学生相談室は、健康等に不安を感じたときに、それらは気軽に足を運べる場所となっていますか。	46	保健室、相談室があるのは知っているが、気軽に来ても良いというお知らせはあまり見ないので気軽に足を運べる場所ではないのかもしれない。私自身あまり利用しないので、それが原因かもしれない。	保健室等について、学生一人ひとりに周知されていないことがわかりました。入学初年次のオリエンテーションで伝えていますが、様々な情報が入ってくる時期でもあるので、認識するのが難しかったのかもしれないと考えられることから、保健室については、今後、毎年健康診断で分かりやすく記載されたパンフレットを配布していきたいと思います。また、学生相談室は、相談に来ていることが周りに分かりにくいような場所にそもそも作られていることもあり、オリエンテーション、大学HPなどで紹介していますが、身近に感じてもらえていないようです。今後はtani-WA等を利用し情報発信をしていきたいと思っています。	学生部
	47	正直、使えていないです。保健室の場所も19号館か20号館にある一つしか知ることができていないので気軽にとは言えない現状です。	保健室は4号館と20号館にあります。場所を知らないという意見が多く聞かれたため、場所や利用方法について解説したパンフレットを作成しました。今年度は新入生を対象に配布したため全学生へ周知ができませんでした。今後はポスターやパンフレットの設置などでより多くの方へ周知していきたいと思っています。学生相談室では、みなさんの利用に繋がるよう、4月の各種オリエンテーション期間中、初回のゼミ時に、学内ツアーに組み込んでもらえるよう調整したいと思っています。	学生部
	48	保健室に関しては、利用した際に懇切丁寧に対応してくれたため、気軽に足を運べる場所になっていると思う。学生相談室に関しては利用したことがないため、判断できない。	これからも気軽に保健室を利用してもらえるよう丁寧な対応を心がけます。学生相談室では、みなさんの利用に繋がるよう、4月の各種オリエンテーション期間中、初回のゼミ時に、学内ツアーに組み込んでもらえるよう調整したいと思っています。	学生部
	49	正直、あまり利用していません。他の学生からも利用している声はあまり聞きません。健康診断の際、保健室を意識する程度になっているかもしれません。	健康等に不安を感じた時には気軽に保健室をご利用ください。保健室では健康診断結果についての相談や健康診断証明書の発行についても対応しています。お気軽にご相談ください。学生相談室では、みなさんの利用に繋がるよう、4月の各種オリエンテーション期間中、初回のゼミ時に、学内ツアーに組み込んでもらえるよう調整したいと思っています。	学生部
	50	私自身はあまり健康に不安を感じたことが無いので保健室や学生相談室を利用したことはないのですが、知人が不安を感じた際に学生相談室に相談に行ったという話を聞きました。なので、気軽に足を運べる場所となっていると思います。	健康等に不安を感じた時には気軽に保健室を利用してください。学生相談室を利用したいと思った時により足を運んでもらいたいように、年度始めに学内ツアーに組み込んでもらえるよう調整したいと思っています。	学生部
	51	保健室は気軽ですが、学生相談室は気軽ではありません。	これからも気軽に保健室を利用してもらえるよう丁寧な対応を心がけます。キャンパスツアーの他、年2回行っている「ティアフォー」などで、みなさんが興味を持つテーマを取り上げ、もっと学生相談室を身近に感じてもらえるようにしたいと思います。	学生部
	52	利用したことがないため、分からないが、そもそも学生相談室や保健室の場所を知らない	保健室の場所を知らないという意見が多く聞かれたため、場所や利用方法について解説したパンフレットを作成しました。今年度は新入生を対象に配布したため全学生へ周知ができませんでした。今後はポスターやパンフレットの設置などでより多くの方へ周知していきたいと思っています。	学生部
53	以前友達が交通事故を起こした際に利用していて、気軽に足を運べると感じました。	ケガや体調不良時の対応はもちろん、学生教育研究災害傷害保険（学研災）の保険請求に関することも保健室で対応しています。気軽に相談してください。	学生部	
自由記述 その他、学生サービスについて、気づいた点等があれば記入してください。	54	学生相談室について、学内ツアーの際などで「ここにあります」と紹介し、担当教員との接触があればより身近な存在となるのではと個人的に感じた。	実際にその場所に行き、カウンセラーの先生に会ってもらうのが一番良いと思います。これまでも、新入生オリエンテーションで案内したり、1回目のゼミで学生相談室を訪問してもらったりしていますがカウンセラーの先生のスケジュールの都合等で会えないこともあったので、今後は初回ゼミのときには学生相談室の予約を入れず、学内ツアーに開放する仕組みを考えていきたいと思っています。	学生部
	55	① 学生課の受付？の段階で職員さんが同時に2人向かって来ているのが、少し無駄かなと思いました。 ② トイレの清掃後、トイレットペーパーを三角に折ってはるのが、少し衛生的に不安です。	学生課では、担当者が支援業務を分担しています。休み時間に窓口へ来ることが多いので、迅速に対応するため2人で聞くことが多いです。また職員同士の引継ぎのため2人体制となる場合もあります。今後は合理的な対応について検討していきます。 元々清掃従事者が清掃済の印として行うようになったのがきっかけで、見た目も整っていてかつ利用者が紙を取りやすいことから、いつのまにか利用者が次の人への配慮として同じようにすることが広まったようです。しかしながら不特定多数の利用者が触れることは確かに衛生的ではありません。指摘を受け、清掃従事者には三角折をしないよう周知徹底しました。また、利用者もこれを繰り返さないようにするため、「（仮）三角折禁止！」等の張り紙を各トイレに順次貼付することとしました。	学生部 事務局長 施設係

【学修環境の整備について】				
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
Q6 校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、休憩スペース等は、適切に整備され、利用しやすい快適な教育研究環境になっていると思いますか。	56	休憩スペース以外の施設は適切に整備され、利用しやすい雰囲気となっている。図書館は利用しやすいと感じている。休憩スペースにどの施設が該当するか分からない。志学館1階のスペースは入学当初非常に静かで集中できる場だった。しかし、最近は音楽を流す、また大声の私語が目立つ。それを許容しているかは把握していないので、見当違いな意見であったら申し訳ないが、静かな勉強場所はどこであるのか、学生側が良く把握できていないように感じる。	志学館はもともと休憩スペースでしたが、ラーニングコモンズとして整備し、勉強や議論をするスペースとして活用してもらえるようになってきました。しかしながら、大声や音楽等で静かに勉強ができない状況であることについては本来のあるべき姿ではないので、改善するように啓発活動をしていきたいと思っています。	学長
	57	どの施設もクーラーなどが整備されており、利用しやすい場所となっています。ただ、一つ不満点を挙げるとするならば、図書館でWi-Fiが使えるように整備して欲しいと強く願います。図書館に人が滞在し続けてしまうことを危惧しての対応ならば、何とも言えないのですが課題をするにしても勉強にしてもWi-Fiが使えないのは不便でしかないので、その整備は行って欲しいです。	No.66で対応	学長 情報教育センター
	58	校舎や図書等の施設については、十分利用しやすい快適な教育研究環境になっていると思う。	ありがとうございます。学生の皆さんが使いやすい快適な教育研究環境にすることが我々の責務なので今後も努力をしていきます。	学長
	59	適切であると考えます。ところが他の学生からよくWi-Fiが利用できる施設が少ないという声を耳にします。すべての施設にWi-Fiを設けることは難しいと思うので、まずはコンビニにあるようなポケットWi-Fiの設置から導入されると、学生にとって助かると考えます。また学生が空きコマに利用できるカフェテリアや、ICT教育が充実している教室の普及率が高まると、学生の環境はさらに良くなると考えます。	現在の授業は課題や資料の配布等もネットワークを介して行われることが多いので、ご指摘の通り、大学内でのWi-Fi環境の充実是不可欠であり、今年度本格的に環境整備に着手しています。まず、第1期として2022年5月に、1号館正面玄関、志学館、成光館食堂、第3体育館前4か所のfreeWi-Fiを設置しました。第2期として11月までに、図書館、各食堂のWi-Fi整備を進めています。また、2022年後期から情報処理教室A、B、C、Dにおいて、持ち込みPCが利用できるWi-Fi環境が整います。	情報教育センター
	60	快適であると感じています。	No. 58で対応	学長
	61	はい、大きくではないですが、少し環境の雰囲気が変わったなと思います。	少しずつですが、校舎の美化にも努めています。今後とも学生の皆さんが使いやすい快適な教育研究環境となるよう努力していきます。	学長
	62	利用しやすい快適な教育研究環境になっていると思う。コストがかかると思うが、Wi-Fi環境をもう少し整えてほしい。	No. 59で対応	情報教育センター
	63	全てにおいて大変利用しやすい環境となっているので助かっています。	No. 58で対応	学長
自由記述 その他、学修環境の整備について、気づいた点等があれば記入してください。	64	食堂にパーテーションが設けられ、椅子の個数も少し減っていますが、マナーの悪い生徒が椅子を多く持って行ってしまい食事ができない現象がしばしば目立ちます。	No.68で対応	学長
	65	私達の代は一回生の頃にコロナの影響で学校に通うことが制限されていたことも関係しているのですが、どこにどの施設があるのかが初見では分からないことがありました。	今年の3年生諸君は一番コロナの影響を受けた世代なので、苦労が多かったと思います。今後の学生生活を充実させるためにも、ゼミの先生にお願いして改めてゼミ主催の学内ツアーをやってみるとか、友達と学内探検などやってみて、どんな施設があるか確認してみてください。	学長
	66	学内のWi-Fiの強度強化と学内スポットの増加はオンライン授業を行う場合や、授業内でパソコンやネットを使用する際に必要になる場合もあるため、早めに進めてほしいと個人的に思う。家に帰ってからWi-Fi環境のあるところでしている状況である。	どの場所がどの程度Wi-Fiがつながるかを調べて対応しているところですが、しかしながら、大学としてパソコン必携としているにもかかわらず、Wi-Fiが繋がらないところがあることは事実であり、あわせて、ほかの学生の意見にもあったように、図書館、L教室はまだWi-Fiが使えない環境であることから、順次整備していきたいと思っています。	学長
			いつでもどこでも誰でもWi-Fiにつなげることができる環境を目指していかねばならず、左藤理事長からもその必要性を強く説かれています。引き続き、Wi-Fi環境の調査をしつつ対応を検討していきたいと思っています。	情報教育センター
	67	環境整備の一つとして、学生が利用できる駐車場が校内にあると、もっとアクセスが便利になるという声も耳にします。土地の確保やトラブルを考えると難しい問題かもしれませんが、導入されると嬉しい学生も多いと思います。	駐車場があれば確かに便利になると思いますが、優先順位からすると、学内の整備や美化が先だと考えます。理解してください。	学長
68	①自習室があるのはありがたいが、大声で話す学生がいるので正直活用しにくく、また、ある学部の同じ学生がいつもいて、入りにくいので、ある程度ルールを決めてほしい。 ②チャイムの音に大谷の独自性を出すと面白いと思う。	自習室での大声や他の学生の意見としてあがっていた食堂の椅子を移動する件については、何らかの対応が必要であると考えています。なお、チャイムに関する提案は面白いと思います。校歌の一節や恩徳讃を使用している大学もあり、すぐに対応できるかどうかはわかりませんが、参考にしたいと思っています。	学長	

【学生の意見・要望への対応について】				
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
Q7 学生による授業評価アンケートや学生満足度調査等の結果は、学修支援や学生生活、学修環境の改善に反映されていると思いますか。	69	いいえ、そうは感じていない。私たちは毎回アンケートに答えているが、それに対してのフィードバックを受けた記憶がない。授業評価アンケートの結果が出たので確認してほしいというアナウンスはなく、いつ出ているかも知らない状況である。tani-WAにあげたら良いのではと考える。シラバスを以前見たときは、保健体育しか出ていなかったと思う。アンケートを実施し、どのように対応するかを明白にする必要があると考える。すでに実施していた場合、私たちの目に届いていないので改善が必要だと考える。	授業評価アンケートは学生の皆さんの意見を反映したいと思い実施していますが、結果がまとまった時点で皆さんにお知らせできていないことがわかりました。なお、学内においては、学生の皆さんからの意見について、担当教員が自己評価をしたコメントをHPへ掲載しています。これまでも集計結果を公表していますが、学生の皆さんへお知らせできていなかったことから、今後は、tani-WAへ集計結果が出たことをアナウンスしていくよう検討したいと思います。	教務部
	70	そこまで目に見えて反映されている実感はないです。もちろん、昨年がどうだったかを詳しく知らない先生や授業ばかりなので仕方がない部分はあるのですが、よく分らないです。	毎年、受講科目についての授業評価アンケートを実施しています。各期末にはアンケートを集計し、その結果を踏まえ各授業担当教員の自己評価を行い、その内容を学内限定で公開しています。次年度の履修登録前に教員による自己評価を参考ください。	教務部
	71	反映されていると思います。	反映されているという意見をありがとうございます。今後もアンケート結果等を検証しながら改善に努めていきます。	教務部
	72	学生による授業評価アンケートの実施は、大変良い取り組みであると考えます。学生の声をそのまま伝えることができる良い機会だと思います。ところが結果が改善に反映されているかどうかは、学生の私たちにとっては分かりません。なぜなら学生は同じ授業を2回受ける機会が基本的に少ないため、改善後の授業を受けることが少ないからです。きっと改善されているとは思いますが、違いが分からないため答え難いです。	毎年、受講科目についての授業評価アンケートを実施しています。学生のみなさんからの意見を踏まえ各期末には各授業担当教員の自己評価を行い、その内容を学内限定で公開しています。履修登録前に受講希望科目について閲覧し、参考ください。	教務部
	73	改善されていると感じたことはあまりありません。	改善されていると感じてもらえるよう、今後も検証しながら改善に努めていきます。各担当教員からの自己評価について確認ください。	教務部
	74	多少反映されていると思います。ただ、反映して下さるにしてもくださらないにしても、学生が文章にて打ち込んだものだけでいいので、それに対する回答を全学生が確認できるようにして下さったら、変化がないことに対して理解できるのになと思います。	各担当教員からの学生のみなさんからの意見を踏まえ自己評価し、その内容を学内限定で公開しています。参考にしてもらえるよう、公開についての学生のみなさんへの情報発信を工夫したいと思います。	教務部
	75	授業評価アンケートや学生満足度調査のフィードバックを確認している学生は少ないと思う。特に目立って改善に反映されているとは思わない	改善されていると感じてもらえるよう、今後も検証しながら情報公開の方法など改善に努めていきます。	教務部
	76	僕はあまり感じた覚えはない。	上記（No.69）の意見も踏まえて、学生の皆さんへ集計結果を提供できるようにしていきたいと思っています。	教務部

【単位認定、卒業認定、修了認定について】					
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署	
Q8 シラバスに記載されている評価基準等については、わかりやすく、適切に定められていると思いますか。	77	先生にもよりますが、基本的にわかりやすいと感じています。	ありがとうございます。今後も学生にとってわかりやすい基準作成に努めます。	文学部 （日本語日本文学科）	
	78	概ね、わかりやすく定められていると思います。	コメントありがとうございます。概ねわかりやすいとの評価をもらい嬉しく思います。今後もより分かりやすく、適切な成績評価の基準を示すことができるよう、引き続き工夫を重ねていきたいと思っています。	文学部 （歴史文化学科）	
	79	わかりやすく適切に定められていると思う。	ご意見ありがとうございました。これからもわかりやすいシラバスの充実に努めていきたいと思っています。	教育学部 （幼児教育専攻）	
	80		適切に定められていると思う。特に評価方法がパーセンテージ化されている点が非常に分かりやすい。平常点、テスト、提出物、プレゼンテーション等いろんな評価方法が各授業で先生方が設けられていると思うが、それが何%でというのが分かっているので、私たちが理解して授業を受けることができる。ところが中には、新しく改訂されていないままのシラバスもある。実際の内容と少し異なる場合どう捉えるべきか、ためらうときがたまにある。	基本的には、シラバスに評価の基準と評価の割合を示すことを前提として取り組んでいます。その中で、どのように反映されているのかが分かりにくいという点については、先生方の取り組み方によって若干違うこともあるとは思いますが、できるだけシラバスとの整合性を図るように先生方へは周知していきたいと思っています。また、分かりにくいところがある点についても、具体的に分かりやすく示すようにしていきたいと思っています。	教育学部 （学校教育専攻）
				シラバスについては、評価基準が適切でない部分があったとのことですが、シラバス作成時には第三者がチェックすることになっています。しかしながら、当初予定していたオンラインから対面授業に変わってしまった等、先生方としても調整が難しい点があったかも知れないことから、教務委員会の先生方をはじめ、情報を共有していきたいと思っています。	教務部
	81	適切に定められていると思います。	No. 79で対応	教育学部 （特別支援教育専攻）	
	82	はい。思います。	学生にとって、どのように成績つけがなされるのか、大きな関心事であると思います。シラバスに記載されている評価基準等については肯定的に評価してもらっているようであり、うれしく思います。学科の教員組織としては、今後とも、こうした点について分かりやすく伝え続けられるよう、学生の意見に耳を傾けながら、努力を重ねていこうと思います。	人間社会学部 （人間社会学科）	
	83	分かりやすく、適切に定められていると思う。	シラバスは、授業担当者だけでなく、教務を担当する教員もその質の向上に携わっています。今回、「分かりやすい」と評価されたこと、有難い限りです。今後とも、受講者がその内容を理解し、主体的に学ぶツールとして活用されるよう、改善を続けていこうと思います。	人間社会学部 （スポーツ健康学科）	
	84	適切だと感じます。	今後も、わかりやすく適切な評価基準の記載に努めていきたいと思っています。	薬学部 （薬学科）	
自由記述 その他、単位認定、卒業認定、修了認定について、気づいた点等があれば記入してください。	85	学生カルテも見ると、一発で分かるのでとても助かっています。強いて言うなら、成績発表の時間を設定していただくと幸いです。成績発表の日何時に発表されるか分からないため、ソワソワしながら何度もアクティブ・アカデミーを開いています。時間が決められていると、心に余裕ができると思いました。	Webでの成績発表の時間についての意見、ありがとうございます。基本的には発表日当日の1時限の授業が始まる時には確認してもらえるように公開していますので、確認してください。	教務部	
	86		教育実習中の課題提出について、ほとんどの授業で、申請をすれば提出期間外での提出を認めてくれたが、オンデマンド授業では、一部「オンデマンドであるため、実習中であっても課題に取り組むことはできるだろう」と期間外の提出が認められない講義があった。私は、実習期間中は実習に注力したいと考えていたため、全講義で実習中の課題提出について統一してもらえると嬉しいと感じた。	実習中の4週間は、課題に取り組んでいる状況ではないと思います。実習中の課題提出については、今後は統一できるようにしたいと考えています。また、提出期間を延長するなど配慮もしていきたいと思っています。	教育学部 （特別支援教育専攻）
			オンデマンド授業の多くは、共通教育で1回生から学べるものであることから、設定上どうしても1週間で学び、次へ進めていく必要性があり、そのような進め方をしていたのかもしれないので、その点については理解してもらいたいです。なお、期間外であっても、もう一度公開するなど、先生方に配慮してもらえるようにすることで実習をしっかり受け取ってもらえるようにしたいと思っています。	教務部	
	87	CAP制として、過剰な履修登録を防ぐためなどといった理由から、履修登録可能な上限単位数を48に定めている一方で、単位取得状況が良好である学生には、より多くの学修が可能であるといった差別化はとても良いと思う。	本学ではCAPの上限単位数の緩和として制度を設けています。この制度を活用して、学生のみなさんの学修意欲向上につながることを願っています。	教務部	
88	1回生の時にある科目で出席しているにもかかわらず欠席になっている場合があり、単位がもらえない友人がいた。1回生なのであまり状況が理解できていなかったと思う。	1回生の共通教育科目「社会福祉論」のこのようですが、共通教育科目のため、薬学部だけでは対応できない内容であるため、今後は、薬学部と教務課と連携しながら対応していきたいと思っています。なお、出席が足りず、受験資格がない場合、教務課から通知があるが学生はどこで確認したらいいのかがわかりにくいようですので、出席状況の確認ができる体制についても教務課と相談し、整備していきたいと考えています。	薬学部 （薬学科）		

【教育課程及び教授方法について】				
質問項目	No.	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
Q9 各学科の カリキュ ラムにつ いては、 学びたい 科目が設 定されて います か。	89	様々な科目があり、日文でも生物学や数学を学ぶことができたり、自分の好きな科目を履修できるような設定であると感じます。〇〇学科だからこの分野だけを学習する、という固定概念がなく、非常に充実していると考えます。	充実しているという意見をありがとうございます。専門教育科目に限らず、幅広い教養を身に付けていただけるよう、カリキュラム改善に努めます。	教務部
	90	私は教職を目指す身なので学びたい科目は教職以外では取ることができませんでした。一年生の頃は、心理系の科目を取ることもできたのですが、それ以降は教職科目を取ることで精一杯だったため厳しかったです。ただ、これは大学がどうこうできる問題でもないと思うので一意見として聞いて頂ければ幸いです。そもそも教職を目指しているのだから今まで取った科目こそが学びたい科目ともいえるのでしょうか。	学生のみなさんが本学で何を学びたいか、どのような資格・免許を取得したいか、4年間または6年間の学びをアドバイザーや教務委員が中心となって相談を受けています。今後も卒業後の目標を持って取り組んでいただけるようサポートしていきたいと思ひます。	教務部
	91	設定されていた。	カリキュラム設定が適切であるという意見をありがとうございます。今後も学生のみなさんの意見を聞きながら、カリキュラム改善に取り組んでいきます。	教務部
	92	設定されています。教育学部に関しては、学びたい科目が充実していて大変満足しています。他の学生からも「こんな授業が学びたかった」などの声は聞いたことがありません。ほとんどの学生が、カリキュラムに満足していると思ひます。	カリキュラムに満足しているとの意見をありがとうございます。今後も学生のみなさんの意見を聞きながら、カリキュラム改善に取り組んでいきます。	教務部
	93	学びたい科目が設定されていると感じています。	No. 91 対応	教務部
	94	はい、設定されています。		
	95	学びたい科目が設定されているが、「2020年度以降入学生は受講不可」といった授業の中で、受講したい科目（スポーツアナリスト論やスポーツプログラミング論、スポーツビジョン演習）があるため、単位として加算されなくても良いので、単位取得状況が良好である学生に限定するなどとして講義を受講できるようにしてほしい。	スポーツ健康学科に新しいコースができたことにより、今までなかった科目が設置されたため、このような事態がおこっているようです。しかしながら、単位に関係なく学生が受講を希望する場合、直接担当教員に要望を伝え、コロナの感染対策による座席指定等の条件をクリアしたら、問題なく学べるのではないかと個人的には考えています。ただし、実技に関しては、授業中の事故もあるので、保険の関係で難しいと思ひます。また、出席日数が不足し、受験停止となった場合も、単位を認定してもらうための試験は受けられませんが、受講が停止するわけではないので、授業には出席し、知識を増やすことはできますので、続けて出席してほしいと思ひます。	人間社会学部（スポーツ健康学科）
	96	設定されていると思ひます。	これまでも専攻やコースが違う学生からの受講希望の問い合わせはあり、座席に余裕があり、担当教員に受講が認められれば教務課としても認めていますので、担当教員に積極的に相談してみてください。	教務部
96		No. 91 対応	教務部	
Q10 授業内 容・方法 は、きめ 細やかな 少人数教 育を行っ たり、学 生参加 型のアク ティブ・ ラーニン グ（グル ープワ ークや ディス カッシ ョン等） を 活用す る等、工 夫をこら したも のとな って います か。	97	講義、先生によります。グループワークを頻りに実施し、協働可能な講義もあればただ座って先生の話を聞くだけの授業もあります。グループワークを行う先生方は工夫をこらし理解しやすい授業になっていると感じます。	教育内容や講義室によっては、座学型講義が必要な面もあることは理解してください。	文学部（日本語日本文学科）
	98	先生によるという回答が一番しっくりくると思ひます。ただ、多くの先生が努力して下さっているのだなという感覚はある。自分が大学入学前に想像していた大学の授業よりもよっぽど工夫されているものだと感じている。一学生がこんな上から目線で申し訳ないが、良い意味で大学っぽくない授業が多いことに驚いているし、この大学で良かったと感じている。	教員によるというよりも授業によるのではないかと思ひます。授業によって使い分けをしており、自分の授業でも座学だけの授業もあれば、祇園祭や韓国に行くような授業もあります。なお、科目によっては座学だけの授業もあると思ひますが、その形式がふさわしい授業であるということと理解してほしいと思ひます。また、コロナ禍で先生方もeラーニングなどの授業方法も新しく獲得したということもあり、今後もさらに授業に活かしていきたいと考えています。	文学部（歴史文化学科）
	99	工夫をこらしたものになっていると思ひます。	意見ありがとうございます。これからもシラバスの充実にも努めていきたいと思ひます。また、授業内容・方法に工夫しながら、アクティブラーニングのある参加型授業をより充実させていきたいと思ひます。	教育学部（幼児教育専攻、学校教育専攻、特別支援教育専攻）
	100	はい、工夫されていると思ひます。中でも中高英語コースの授業では英語特有のアクティビティ活動の学ぶ機会が多々あります。実際に大学でのアクティビティをきっかけに私は、英語がさらに好きになりました。大学で学んだアクティブ・ラーニングを、将来現場で活かしていけたらと考えております。		
	101	授業によって差があるように感じます。アクティブ・ラーニングがある授業はとて有意義だと感じています。そうではない授業もあると感じています。		
	102	面白い参加型の授業が多いです。	学科としても、参加型の授業等、アクティブラーニングの促進は、学びをより深いものにするうえで非常に重要なものと認識しています。このような授業について、肯定的にとらえてもらっていることをうれしく思ひるとともに、今後も学科としてそうした深い学びの実現に向けて、工夫を重ねていきます。	人間社会学部（人間社会学科）
	103	グループワークをする際には、全員が集中して議論できるように、3、4人のグループに分けて行ったり、余ってしまう人が出ないようにするといった工夫を凝らして行なわれていると思ひます。	学科の多様な授業（講義・演習・実習）の中で、これまでも各教員がアクティブラーニングを通して、学生の主体的な学びを引き出しています。今後も効果的なアクティブラーニングを実現するために、工夫していきたいと思ひます。	人間社会学部（スポーツ健康学科）
104	大変そう思ひます。	今後も、学習効果を高められるよう、授業の工夫に努めていきたいと思ひます。	薬学部（薬学科）	

自由記述	その他、教育課程及び教授方法について、気づいた点等があれば記入してください。	105	<p>私は第二外国語の習得に興味があるが、英語以外の言語については開講されている講義が少ないと感じている。英語はリスニングやスピーキングがあるが、英語以外の朝鮮語や中国語についても英語のようにコミュニケーションに焦点をあてた授業などを開講して欲しいと感じる。</p>	<p>第二言語を学び、朝鮮語を話せるようになり、検定を受けて卒業する学生もいるようです。ただ、SpeakingA及びB、ListeningA及びBは教育学部の中学校・高等学校（英語）の教職課程における科目のために設置されており、そもそも他学部はこのような科目が設置されていません。なお、共通教育科目には4言語（中国語、朝鮮語、ドイツ語、フランス語）が設置されています。現在、共通教育科目の見直しをしているところであり、話せる力、書ける力を重視しながら、カリキュラムを検討し、多くの学生が語学を学べるようにしていきたいと思います。</p>	教務部
				<p>第二言語、外国語を学びたい学生は、積極的に国際交流室を活用してほしいです。</p>	国際交流室
		106	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ健康学科のロッカーは、19号館にあるが、大学の校舎の奥の方に位置しているため、ロッカーを利用しようとしても、ロッカーに行くまでの時間がかかるため、なかなか利用しようと思わない。そのため、1号館など、門から近い位置に設置してほしい。 ・グラウンドが完成していないことで、現在、陸上競技部やラクロス部は、毎回学外活動願を出し、河川敷や競技場などの場所で工夫して部活を行なっているが、グラウンドはいつ頃完成する予定か。また、部活動の練習で学校から距離がある競技場で練習を行なう際に、大学のバスを使用することはできないのか。 ・第3体育館のミーティングルームは学生が借りることができる場所だと思うが、貸出票がないと思うので、部活動でミーティング等をする際にも、借りることができるようにしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカーについては、今年度利用についてアンケートを行いました。使いにくいなど様々な意見がありましたが、概ね今後も利用したいとの意見が多く、改修を含め、検討していきます。設置場所はスペースの問題から現状のまま使用してください。 ・キャンパス整備は、旧耐震校舎の耐震改修を先に行うこととしているため、グラウンド整備についてはその先のこととなります。申し訳ありませんが、現時点でいつと明言することはできません。 ・学園バスは数に限りがあるため、通常練習での使用は難しいですが、練習試合や公式試合、大きな荷物の運搬など、困った際は学生課窓口まで相談してください。 ・第3体育館のミーティングルームは、クラブ活動での使用が可能です。通常通り、「学内活動願」の提出によって、クラブ活動時間内であれば使用できます。みなさんに周知できていない点については改善します。 	学生部